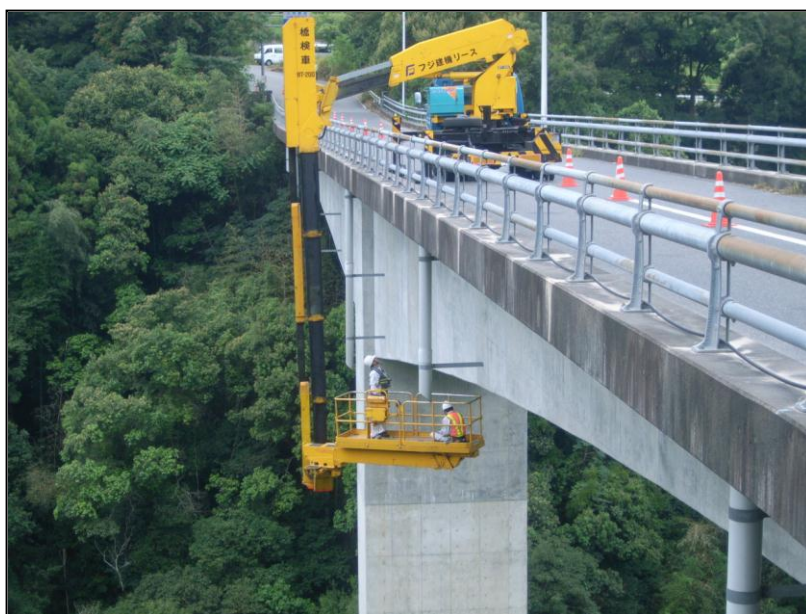


紀美野町

橋梁長寿命化修繕計画



和歌山県紀美野町

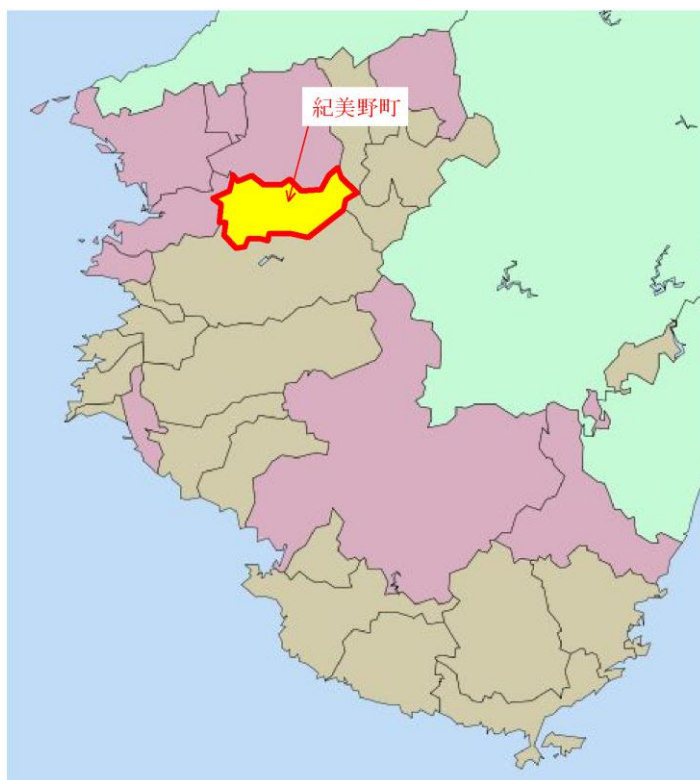
○. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

紀美野町は、和歌山県の北部に位置し、中央を東から西に紀ノ川の支流である貴志川、真国川が流れ、その流域に広がる丘陵地と山地からなる町です。町管理橋梁のうち、今回計画策定する65橋の多くは、この貴志川、真国川を渡河する橋梁であり、規模の大きな橋梁が多くなっています。

紀美野町が計画策定する橋梁65橋の約66%が、今後20年から30年後には橋齢50年を超えて、供用する上での安全性が懸念される状況に到ることが予測されます。これに対処するために、今後の橋梁維持更新費用の増大が予測される一方で、町の財政状況は今後も更に厳しさを増すことは確実です。

こうした状況において、橋梁の利用者である町民に確かな「安全・安心」を提供しながら、橋梁を「健全に、より長く」使い続けることが、喫緊の課題となり、「橋梁の劣化・損傷が軽微なうちに補修対策等を計画的に実施して、維持更新の費用を縮減するという予防保全的修繕に基づく「長寿命化修繕計画」の策定を急ぐ必要があります。

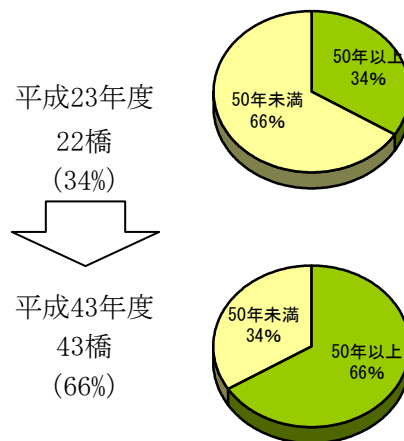


2) 目的

点検や補修を定期的にかつ計画的に実施して、町民生活に不可欠な道路ネットワークを恒久的に提供することを目的とし、また、橋梁の傷みが小さなうちに対策を講じてできるだけ長く使うという“予防保全型管理”を基本とした点検・補修・更新等の計画を策定し実行することにより、従前の対策を実施してきた場合に生じるであろう対策費用を縮減し、町財政の更なる健全化を行う必要があります。

(管理橋梁 65 橋の今後の高齢化の予測)

一般的に問題とされる橋年齢 50 歳の橋梁数の予測



計画対象 65 橋の橋年齢については、既に 34%の橋梁が高齢化となっています。
さらに、20 年後から 30 年後にかけて、66%から約 80%が高齢化することと予測され
長寿命化対策を計画的に実施していかなくてはなりません。

今後、予算等を考慮し、計画的に対策を実施していきたいと考えています。

長寿命化修繕計画に基づいて補修対策を行う損傷補修事例



○. 計画策定担当部署及び意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署

和歌山県紀美野町建設課 TEL : 073-489-5904

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

大阪市立大学大学院 工学研究科 都市系専攻 橋梁工学分野
教授 山口 隆司 氏